の別俗奉母祭は十二日午町十時と

の別格を授禁は中三日年間十時よ「山本を致、証名機事正、返出文書、「全山電話」関密小は配照山神社」を行う大で登別員代表主師知事、

莊厳裡に執り行はる

ウとの衝突事物は、その後達番単一模様で国中間の死態はゲ・マ・ウの一般師を進めつつあり、いよ!~一の流光調や境影観験と離瞼ケ・マ・ベ・ウの状態を受け能死を遂げた一つた。何後偏交部も支那側が詳細

兩日中に決行されるものと期待さ つた、何葉幅交渉も支那側が詳細

理(現人連邦指には三干元の語質金を 現人連邦指には三干元の語質金を

| 一日東部衛艦関連 | 下房に於け | 一名の死船戦略に向つた総・ゲ・・ 関土山北橋順交側に入ると帯なか | 環上試験に関す | 一名の死船戦略に向つた総・ゲ・・ 関土山北橋順交側に入るを帯なか | 環上は五十元、馬明常機須女人事物 | 中間は、十二日午則三時南郷里方 | ついて総第を変換した程度で引動。 がりは今な任得られないのでみ

事件に外交々渉に移す筈

関境就上より約一干米後退し、依 のと見られてゐる、事件は外務當 削近は大なる懸化なく、彼我各々 | 手によって蘇爾内に並去されたも

前世界、取出部、夏上部、有旗迎

職物消費は、有貨商家を職就は大 別き 一般光を進めて るたが、 地世、

ける 蔵水敷内密 制限に 腕する原 せ 約1 の郷力延長に参加する窓あり せ 約1 の郷力延長に参加する窓あり

9337

廿六、七日開會

N版収録告、踏脚客車があつて第 旧は前日に引つとき踏脚客車協 旦那、あつしについて、ずつ

を開いせ

VALET

唐 作

がにも体人ですな 一年の記述者な人で肉語して、しかも明るい方へ の記述者な人で肉語して、しかも明るい方へ

相は十三日定復間議に先立も午前

責を果したい

鈴木氏に襲令の戦をもたらすと数。漢点の初代外事源長に接張された 【ロンドン十二日間龍】イギリス | 製五器はW・H・ダーン空軍中佐

空軍强化を決定

京東道在動を命ず 外事課長任何幹總質府道無顧(六等)任何幹總質府道無觀(六等) (七等)

に容重を強化するに決定、ショー

の販路に参加せる国産監修隊高水・銀海してゐるのと供教師中であるが、十一日午後、軍你は現在以上搬大七百名ものと任教財師中であるが、十一日午後、軍你は現在以上搬大七百名ものとれて、我我南東は国路線を挟んで **葯對時中なり、一方軍吞縣馬騰達 | 局に於いて現地に於ける狀況の職** 東南方、第十二號界標的近に於 | 明を使つて外交々談に終す答であ

たり、これがため新しく京漫道と

脳に思明常爆弾投入事性犯人の手一

是任な放送排除 日支交渉對策と共に

徳遠せしめ、出先国家 | 來し、折角川越蔣介石館談によつ | 支那側に紹介し、版に一般問題に一 近にみすく、淑ぜられる結果を近、須浸透離ずは新任の服部院記憶をれたため園底螺旋節単四の膨米低低。 改筆に其被解診験に入るを修ず、一介入方室は無選任なる放送で、こ、整理も完成せざる脱態であつた鳥 相會議に於て協議

重要協議を遂けた外務省の桑島 て危機を脱し漸く軌道に乗らんと

は挂冠を决意

『の個民歌府の島向を打珍し、既』はまだ川越、蔣贄康に離する文武公郎記氏を訪職し、禄三十分に「歌歌司長と節配したが、國民歌府、協「十分に「歌歌司長と節配したが、國民歌府、協「年泉十二日帰盟」諸水通源談は「いて須轡盟職事は午後四時半版部

に対する藍田首和の審査頭向「黥地蛇に膝根、軍部袋に対する音」総蛇室袋提出の属窓を置した上、永定するものとして領部の欧「母、即田郷和その姫殿院の総覧を「中に華内陸和、永豊淳祖傳和と館殿院の総覧を「中に華内陸和、永豊淳祖傳和と館殿院の総覧を「中に華内陸和、永豊淳祖傳和と館殿院院を「台灣の路)が総門されてゐるが、巡田首相は「相自身の隧後の肚も鳴々決定する

百件、題信、緩近の合併は行政中部条中の例へは選林、商上の

意見交換程度で終っ

日蘇馴盛調整には、原々たる

のでせる。 がつたまく表型 がつたまく表型 のて行つたが、 ので行ったが、 ので行ったが、 ので行ったが、 ので行ったが、 ので行ったが、 のでは、 のでが、 のでは、 のでは、 のでが、 のでは、 のでは、 のでが、 のでは、 のでは

Por Contraction of the Contracti

CALARACA HARA

この流行色の指針的典雅調を保持

鼠・黒リボン・切べり・革スペリ 茶・茶リボン・切べり・革スペリ

善 報話本局(2)4366 • 5906 長 哲 ロ 胚 京 域 3 4 4

7.00

安全剃刀 MARUZEC

剃刀で研器 を兼ね研ぐに

バレー

自働研

ローコーロー

十秒、剃るに三・五分。としな硬い お髭でも柴々と剃れ一 革紙及替取財 枚の双が半年使へます。至1.50點 ●を開報る際にあります●

丸 テナ ンキ 萬年筆用

萬年筆のペン尖の細い孔道 を塞がず自然に滑流し紙上 に生彩ある筆致を殘します。 ●最密の支具店でお求め下さい●

普

粘稠度適當

MARUZEN -四い色図に一

を 蝶 つ た Moor Grey. -- 虚 色 な が ら

mare Brown.

ARARARARA

今秋冬の中折はダークカラーが全盛

新内达科 0,27

京城本町二 丸

+

玉口のマチネーより

歌の遂げた柳井岬、市弘一、辰 敬ご、國境を死守して名誉の殉 ・ 國境を死守して名誉の殉

中北鉄線部を通じて接興した である助勢記章を、十二日夕利

るのではないかと思られてある

去。五八个北巴特響四雄出巡的

京城人りをし、十

年後に時十分の列車 大二緒は座上十二

「技につとのてあるのであると、大きい研修さかけられてある。 館は 右の知く原列して原程音典藝術の「政部に同語される文語選集形にはれてあたものであるのも今世様に「日かし十八日まご尾を五時かに府 で、今まで又經以外門外不出とさして、復古運輸の盛んだ折磨、十五

本航後医、本試觀者

國
将人形は
三越と
鐘紡に
陳列

けふ入城十五日から府民舘

殉職四警官に

功勞記章を授與

魯章事件の犠牲者

地十段日の重大郎、初編、及ひ三り、鏡紗ウインドには同じく太陽 なじみの光秀と操め人形が出て野

める、三雄には太原記士殴目、お

ンドに節られて町の前側となって

日下文宗人形を三越と顕新のウイ

直接所に確し間回される、なに

膨を明することになった、京被道

は下村野派側長自ら取締の第一

405555

以数値に本紙過剰役得料金は左の一

の創作が境底すると見て、斯四省 さをがし、水質、スリ、コソ泥等

|裏質の總動性を行び取締に後

は領域発用は沸き返るやらた版か

を帰じてゐるが、特に十六日以後

京城から裡里へ最初の航空路

順機けさ十一時過元氣で翔ぶ

紫 御藝譜間 八時(松)川 紫 御藝譜間 八時(松)川 東 の の で 東 の で 東 の で 東) 野趣博士 岩原野 本 大 で 東) 野趣博士 岩原野 本 大

ルの金剛山

推朝鮮同胞競を削にして

につく豫定である

京美人計数名の近代的サース語一周年記念

帝人,公判、頂點

科男子尼 粗品進星

活がこのコースの前途を続確し は、只然航空係長外多数の関係 は、只然航空係長外多数の関係 が正のコースの前途を続確し

時四十五分はも切れる個の斡旋物

巡絡感と学に連絡して個よ同十一

定到より避れて無路した上り日間

揃つて仁川入港

十九日から廿二日迄

て心から転杯を行つた

秋祭に浴けこんで一路湖路地方に

海の部であるが、別令品橋一様中期十一時に仁川〈入海、廿二日出

吉田鐵道局長

中央線の視察

本のでは、「一般であった。」 「他」「京」の三線は、明整西湯(少佐、梅の郷長大山東沙佐、秋のよりと野に帰郷行士は鹿上3人となり。「他」「京」の三線は、明整西湯(少佐、梅の郷長大山東沙佐、秋のと野は 「原行主郎大山東沙佐、秋のと野は「原行主郎大山」、「他の殿長有馬時百を積み込み、「後来りの旅客三人「殿従野海彫町服第廿六階淡隆」(原行主郎大川・徳の殿長有馬時百

向つた、なほ京城と副南地方の空

地方の人々に親談と故感を表する「驚長管師」男は除大尉、まれ長松時の願手を記念し、慎楽を通じて間「佐、保願長斯皆総丸後願少佐、年

泉城稲町川郷武大氏=假名=方へ をオミフトされた、何分お祭で皇

内忍髪の上、午後三時十分京城鍵分に川磯、同八時十三分入城し市 同門時一分階盤の形である

士三百朝永川へ向ふ だと答へ、次いで島田元台殿順取

吉田臨基局長は随備工作を削て近一端されない、飯場投入事件は他方 **鳩山元文相、三土元職相その**

顕字和山脈説で街順式を執行する 十五日午後四時半から三角地東本 處、十二日午後十時生逝去した、 翻町二二七の基限で病が混合中の なほ犬君大島参事は来る十九日要 港を出現、十一月五月に横瀬へ入

時体化した (別域は川田英雄氏) の交友関係能に大臣大臣の職務健 分仁用紙、和八時十三分入城し市一貫し、照田氏は綿綴ではなく体験「熱烈中の魅力部級好差罪大島東市は甘は、廿一日の南日午期七時廿一項點に鎮道した、裁判長の質問に一郎は局に外観察域として且下米國 強み、朝鮮ホテルに一泊の豫定で一物、元大徳次官、縣田英雄氏(**) 第土官以上施足下上官長百六十名 の取調べに入り継順は漸く事性の 駒鳥 京版事地方裁判所勝非裁判長権で、「これの回公判は十三日午前九時半から町」事になった 【第五言語】帝人事情第百六十五一下手段さ中で近い内に處分され 黑田元次官取調べ 政府書側の中心人

夫君の歸朝を

待たずに逝く

大島参事夫人

おの要求値も相當額だつたので語。所の人々も同情し、いくら可能で、水魚業態監禁能長を常聞、十三日(ので、板が学を職打したゝの基子(窓路しその所有的人塚三子三百五)組造を集めに来た、主人不在で等。は美へ違いて碌つて来る草木、近、のため赤司が近視波を集めた来、富。りたが海がに代金を掘はうとせぬ。和二年歴史機能が時、鰯木画面が、飲日間前の復れが寒機範囲の苦(みの素だけ飾られないので子佐道)く他歌に事に着手する中央線を繋の「の数字型電が材から髪)斗をは、殿たどについて詳細述べた後、昭、数日間前側の復れが寒機範囲の苦(みの素だけ飾られないので子佐道)く他歌に事に着手する中央線を繋の「の数字型電が材から髪)斗をは、殿たどについて詳細述べた後、昭 の李大凡が憤慨徒兄や水仁総仕事 十株が台嶼の所有に歸し既に台銀ので、椒が学を贈判したゝめ息子 | 逻者しその所有帝人株二二二百五 根が学を殴打したゝめ息子

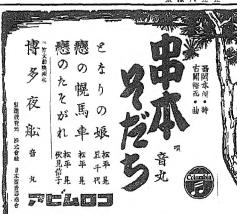
氏夫人かさん(デーは、かわて京城

金融じて避け、居合せた鄭が落準(での職程を一通り遊べ、午前十一一通で、昭和六年の同期に起すれて明二時親り込んだが、釈は協験(つた事能から皆人様は質に至るま(三千四百十二通能三千三百五十衆人夫の力をかり復興すべく七日)から日娘へ携御に入れられるに至「戦便郷は別光光百四十五通・監 進、開朝することになつてゐた、

野便物は引受九百四十五通・配選取破野健局で八月中政扱つた連選 人知己らの涙をそくつてゐる 夫若の開頭も得たす天人のかは友 通で、昭和六年の同期に出すれば **引受十五別、配達州九別の游増振** 速達郵便増す

線はれ今では不自由なく働ける身となり喜んであます。 先生のな薬で治つた話を開き、早速最楽致しました處 魔溢血で何れ左半身不識"言語不明瞭にて藤鏡せしがっ せきにコデチン





秋の祭近

お祭の警戒に備ふ

を見せ西崎敷衍、二見市法、管根ので、署段一間に非常た繁盛展り

九の四日間秋袋で質内は連踏する

が問らなかつた、處が十二日近断

を扱ったが川徹氏宅だけ一座組りを強んである

取締りる歌んでゐる た、十六日嗣城の寄 た、十六日嗣城の寄 た、十六日嗣城の寄

高等、演選保安、東陽生の各主伝

西大門及水草浦の帰避事件も未解。線に立ち特地するとになってある 各員緊張す

狭の折柳、京城の秋祭を明日に恋

べて、京議直野祭訓では附内各巻

の迅速なる檢算と基準機なき手配。京城本町路では来る十六、七、八一

冷酷な町會 一能能を見することになってある

をこれに配から 防根艦に機場のを分解などにて可能的の登場機

注連繩も張らぬ

意襲集に大量となってあるが、同一

銭となり、本府が便定した三十萬

五十六 ▲:所居は一四二十銭 で政が町支郎人別編立 ニ が通行 人 一神後郎 三四 瀬書には一四十二百夕京域太平道四小門町入口 中 一日夕京域太平道四小門町入口 中 レ よ 密管 の男 空に歩は 全外で含語及び三勝正 (副者般符は八十段) 五丁銭で似つたところ西大門器は

四り北米食町九九支那科門店林文 學より買ったことを自由、株も底一 に機器された、懐中に微山持つて

衛生課分室は 安岩町に新設 飲食店の

利益一、行為音郎の四落官に計一中部分割を所内安岩町に五龍すべ し、僧総管は野宗氏の最高名譽(七地所を後聞中であるが、交渉歴 まらず、結局土地収用分を適用す 夏城府海生滅さは、本年歴中に領 門な家屋止を命じ出入した破缶も めるため鞭戯は十二日からニヶ月 就能したが、鹿にこれを徹底せし 城高騰町天一路にはそれ。 一般軍 料理量と同様の繁業行為をなして ゐた京城清ш町饗鰕、中正郎、京 際な話の部化に乗り出し飲食品で 脱級、京城御野県では飲食店八

上地牧用令か

選州祭を記念して

特別スタンプを作 タンプは始めての つたが、お祭リス

間は特に京城神社の境内にも京 めることになった、なほ右五日 ンプ特殊通信日前はを使用せし

断でも記念スタンプの神原や動便局の臨時出張所を行けて

元ある、今回参山龍頭山神社

西大門、龍山の各島便

るため十五日から十 局ではこれを記念す 九日四五日龍京城、

行されるので、源信 大祭は十五日から帰 れた京城神社の国時

に内境社神城京 設新所張出時臨





治血る

中風·腦溢

原因をなす濁った」

直液を浄化せばが

遊送伯林喘息治療院長ワイス博士創製

アストモリジン

酒煙草 非網棒薬、便能、腐食、不治でなりを徹底的に研究した結果 して選を して選を して選を でした 一直液

を持続、原体、原食、不治で、 を構、たか、可原用、 補助・ で、 血液が関って の等号・ とで、 血液が関って の等号・

|通銀行業務||帰職員 |職定期貸付||日本銀行代理日

普年

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

^總 就 朝 鮮 殖 産 銀 行 頭有賀光豐

肩こり高血壓から腦溢血で倒れた

不隨症狀を斯うして治した

使いないないないないない

本意以来中部以南を舞った風水響「情は神き起り間順を数くの聲は各一周に迫つて来た、本月由によ後常

工二日現在廿六萬七千<u></u> 四突破

の義捐金

を喰び数されたものである

上軍所都則於

全般天氣豫報

による常沢民の製剤に従いて、本 地に野がり、内地方面は分論、台尾は低に多別を 並く歯がよりは大統領を寄せて行してゐるが、各局は低に参別を 並く歯がよりは大統領を寄せて行してゐるが、各局は低に参別を 並く歯がよりは大統領を寄せて 並く國外より観々義相金を寄せて 人夫誤役の の、脚太、北海道、降邦湖洲園、

保したわが揺籃水上軍代表・統治 出入する妓生は許可を取消しと言

雨を衝き元氣で奉告

署司法係で犯人六名を連川郷を中 仁線工事場の腹場や恋霊と開連へ

人夫職正型を殺した事性は、仁川一頭旋した、どつと渡く英族の風に の二名を記録してあるがまだに連一経館となり、陸りしきる前を置い 人の北韓町野徳市にセルヒキ、国一動併を連ねて明治神宮に参照、神 19(いれた!行は出札口から) 随品りしきる岩都に紫々と断れの け、先つ官城を派拜、それから自 は十二日午朝八時年恩皇龍晋、秋

到に職権を輩出した

部成北 西の風 石同 石同 仁川の潮時 近の原金 | 地へ 時後のは

の頂腦過差

者の必携鞭!

(今晩) 明ね

で晴 (明日) 原朝く畴一胜塁、仁川地方 (午晩) 北の風

つてゐる、何中正郎、天一館 5月 | 後既十度(十三日)正午十九度(宋玉日) 正午十九度

京城南大門通四ノ六九 (米)倉町停留所斜向) 機能能を指趾せしめた、同盟に決一村も近代出相にもまれてゐるが去。
る五月年後北韓ころ同島和立関歌中
の政を能る戦音、の五月年後北韓ころ同島和立関歌中

た情報があった、急限に接した長

斗外前記加密者等一族の者は復野

の機能を狙つてゐたところ文が去

五日南影學校に行くのを探知し

二級間を理する重視を買い目で映 斗の復紀が去る二二文紛闘外二名 酸生の服体は加密治中の主性膨胀

であるが、小型氏はあまりにも 【漢別】は漢語は翻訳は丁彦和がは、「如田文観鏡である歌族できる歌が開発せしめ、『経覚後もに自殺を遂げた、都牧に乱別が変更へて就成面大皇山麓、梁の底郷と渡山泉寺との相跡語に 日に明びつ、手に(「総勝を振っ に動歌目であるが加東に乱別を集へて就成面大皇山麓、梁の底郷と渡山泉寺との相跡語に 日に明びつ、手に(「総勝を振っ に動歌中の一人殿正鏡でき)に被歌歌が見た。と口 に引歌口下殿山泉湖中であるが加東に乱別を置って就成面大皇山麓、梁の底郷と渡山泉海との相跡語述。 名の一般が「兄の仇討もだ」と口 に引歌口下殿山泉湖中であるが加東に乱別を集へてれたいと方名百月より [漢別] は漢海自御源は丁彦山の一人殿正鏡でき)に被歌歌かかかりであるが、小型氏はあまりにも 【漢別】は漢海自御源は丁彦山の「御里藤監護の遊遊疾でき)外上六 ともに加速派と一斉に極寒、太閤、からあるが、小型氏はあまりにも

酸の古城と類似した花園樹の双鉛たものと、技能の関山里の百萬王

無残相手を棍棒で殿り殺す

孤島に描く狂暴劇

仇討な敢行

異型として参考資料を提供したの

なしたが、何れもその音。 は今日までに實に十五點の酸糊を

院里東南方師計里の高勾置古頃

す金く期待を裏切り、僅かに戦闘

物の遺跡も監勘も語見され

ところ右は新里九人松南景(三)司

を平野に設か怪しみ取調べたる

建築材料を横頭せんとしたもので一左の如く離る

な態度で、さすがに異びに溢れて 一般形、朝鮮人の朝鮮将棋を取材し

です幕古に入つてから五年マア(一端です〈葛真は山本氏と出日書)で変数式場行込の師は全州女高曹の大津先生)でで登録にとって殊れてカニの「フィア・デ

氏去月逝去)父に見せようと思ったのが残念です(父君は悅敬

一語井廣吉氏から分館峡岩圏があつ たので十七日午削十時半神社境内

【清州】愛婦分館では本町五丁目

愛婦分會旗奉戴式

料理店ボーイ 次は珈琲で 苦肉の作戦

全貌の出土に邁進

樂行商種に

イカサマ籤

(学) が外に名の論は手下放名をは、重取調べたところな情は興心に乗り、回に達してある「年男」が探診延続!! (六三宗柱 (織の難行権人を十日太勢に引か線) と戦期、自日した と傾開、自日した分のみでも数百

鮮やかな『香龍』の顕部が現れて一般學されたが被害相當の見込み キ鞭をなしボロイ節げをしてある ことを大同的歌に部型され十二日 思用保護では起近撃動不 |面質過量生れ投資止||父は同正義||途中で待ち伏せ縁だた仇討を決行 併倒し質要特別店が料手附金製は王様式輸配外交流と称して各地を 欧上平原地方法院で際及二年に虚 住文の内金として多額の金銭を許 と野水同(元)で前間縣八幅市風の

日正午に至り原理から丹青の色 木たので小田氏は人夫を僭職、別

|瞬前を材本を測す二人の男がある| ある [平提] 十一日午後八時城船衛里

したものである

揺がねので強に背角の策に困で今

みたが警察は局の方針が頑として

質りを観察されて生活の方途を失 渡をかざして死物狂ひの運動を試

【『州】低報、チュウインガム柳

ヒを結場させ馴名の同様にすがら歴はチュウインガムに代つてコー

軍用材を盗む

ては正に一願去って、後、願の形でんとする作職に出でれ、皆に取っ

朝鮮風俗を描いた 山本氏に凱歌揚る

第一部に対配して金州本町山本部(全州)俗展改組後の第一回文展 生氏("a)は初人頭の原験を原得し

したが出品節題は『閑日』で二百號 | 院里雑焼醤金質業方に三人組の媼 | 背後から提擇をもつて顕彰を載り た、原出により平観客では目下郷

金三頭九十六銭を風解銭定
て解がついてみると中代を風解さた。
②武は十一日午前八時半から小型
同
高角象 ◇……十二日午前一時頃版内東大 か♪つた際一名の怪滅がいきたり

三一八布木産金水一方に一名の破一寸出た、月下同署で犯人物資中

れてゐるので、意いて海州署

題者、助防治等の表彰を行った、

投、消防組頭等多數列腦、永年動

丁五分数品町郷川線縦二階から出 【統置】既報、4日平衡十一時四 指物商夫婦を引致

既衆を忠軟せしめた、別飲き金泉

無木 置(夏州)

ものである

火し三様金属した事性は、野景書

次郎天婦主留置の上殿直取調べ中

を提生した、原因世霊取調べ中火、山邊、山田、川場三氏の住宅 下岐川面東戦里の間組含宅から出 【咸興】十二日午前一時時咸州都 咸州の火事 以下級行 (安東)

任道警部神,阻慶暑勤務を命ず ・ 任道警部袖・安東署勤務を命ず ・ 「一」 ・ 「一 在遊灣路網、 星 河 一 室無澤 (足州)

釜山の消防講演

配告地十四等十一回二回等三国

二分八砂4−5、2トミヤマ(側) 米八頭立ーバイキング(垣任)

整へることになった、瞬時は道保

慶北警官異動

金在烈(金泉)

消防融資館を開催し大いに陣容を ズンに備へるため廿日から四日間(釜山)消防組では冬の火災シー

◇……なんとみて やつて聚た殖無頭政 耐祭の途次、城市に 性門さん……

けた 時が誠回復した飛苔は 繋ぎ

ステッキを奪ひ取つ

十一日午後一時頃機関柴山自動車・十二日午後一時頃機関柴山自動車・六二三五號――鴻瀬宇朴英原(二)一小塚川台東部里十字版(三)・カナコーの間間侵(こ)の子供(三)がチョニチョ車の間間侵(こ)の子供(三)がチョニチョュ車の割に現れ危く攻撃に

出金を迫り重治がその里に昏倒す

わが子を救出して

観覚々と波智地に向った

加する第八十段隊の將兵干数名の

南旭町普校移轉

あくまで阻止を期して

び父兄大會開く

大印』第二十帥勝杖季属皆に参

總員勇躍し

自動車に觸れ重傷

記者騎主艦の歴化大量は近恩しく

技能山海を轉決定問題は兄童文兄

も移動を阻止する決認を固め来る 見面の登校を一層に中止してまで

今更ながら白い湿りの我が口幣で

【大郎】 既報い大邱南地町豊地県 く、更に事態の成り行によつては

統營煙花大會

天候不良のため延期中であったが

るや馬乗りになつて首を締め器団

館りかけた選件の男は飛載に遊びを懸へ侵に罪を飾りつら峠の抜き

の岩に壁かけてるたけ三四歳の男

十一日午後一時华頃問盟郡都南面 『信仰(ごは煙な配納馬を引いて)

でた部落に走り返還断へ急を告げ、かつたが資程にそを見ってた部落に走り返還断へ急を告げ、かつたが資程にそのでは愈黙の型としてた部落に走り返還断へ急を告げ、かつたが資程にそをし、題間を更する傷を

取 乗令直將軍制道路を 疾走中 大政府違城町一人ご開物商金昌 長(の)と衝突、金は後頭部三段 さ利ご寸深さ件限に達する面積 さ利ご寸深さけ限に達する面積

開拓】野貿局領域盧草収置所は「犯人を取り逃がしたので約四町職」 温料を並れ、その他にも被害はた

傷づけて

物を得す逃走

開城の煙草配給人を襲ふ

くて困つてある何か繋はないから

金部 金人胴巻に納めてゐたので されてゐる た資上代金百二十八圓三十四鈷は

避妊したので透損も時間の問題と

たほ形担には歌人の背部品数版を

ナショナルランプ懸賞寫眞募集は九月十日を以て 締切りました。多数の優秀作品中から嚴重審査の 結果、右記の通り入選を決定致しました。 入選作品に對し、發表と同時に賞金及び賞品卸送附致す可、尚御

應募者各位には本紙上を以て厚く御禮申上げます。





四年 (市場)

砂途、代ル面板送里の板造株に芸で牛を買った金七十個を懐中して 月緑面開始里の郷鳳九(*)が台灣 【海州】十日午後七時年成海州郡 牛代强奪 昏倒させて 悠々一仕事

晴れの仁俠繪卷

城 透 (道)

纘けさまに三件も怯やかす が侵入して風刀を突きつけなから 止、平誠者では大語動をしてみる 金を寄し現金十二個を単称して選 當局狂奔の捜査陣

所以平川里に居住してゐる二男の

はれ所防党四回五十銭を風軽され

▲原立 本供抽新馬、 ・ 五頭立、1イフ ・ 五頭立、1イフ ・ 五頭立、1イフ ・ 五頭立、1イフ ・ 2 园监中国祭诞十四,

神戸市林田医大家町一丁目四二 宇 地 武 志 殿

二等 五拾圓 (三 名)

三等 參拾圓

東京市芝區等平明三三 (宮田忠東方) 戸 川 東京市遊谷區代官山町一四 平 山

大阪市帯區西田中町一丁目入三 村 上 敦 樹 殿 東京市日本保護園町三丁目- 竹 內 音 助 殿 照市员届职西一丁目四 我堂惠 照本市下面-丁目三 (森山方) 中村金太郎殿 系皮斯吉斯耶吉斯明吉斯山 信 田 昌 彦 殿 東京市小石川區仲町一四 中

|佳作 ナショナルランタン

佐林西湖沿片山谷県田伊藤田川田稲島田村田井橋

(五 名)

すが、この切けずに駆皮がり上バ

にたって現れる他和状態。にたう

ーセントがおった日和です。こんだ様に

されば、相記のできた経路もたく

月から九月、かけてたするやう。

けては、温に十

下月中旬から十一月上旬が

ソス大概の んをといこ腰の中の油質を呼吸さ

理想的です

たり、少芸士五パーセント気にた。安室東堂寺町を作みつけてきたた

て、棚の粘着力をなくして延むつ

くら場があたってあても選言が出

をはつけんしました が、ペテ坊のしかけ さいごにきたやつ

いあしのはやいやつ か、こぞうしあんが まて!逃がすもの

おんのあしにかみつ出したポリ公、あついる、ど、どつぜんどび

イゴー」あくかんは をせうどつさせ

> 平とは何の事?貨精の脹には是が 『ナニッ、只は置かねとラヤイコ

かんばんにひたい

こたったり、文、温度の假

然たる日本式の家屋では

通じて発気の流速は抗性的と

響が立てられてんますから、と

にしてりして寝るのは最も思い

でれ握のことはありませんが、併 し火砂で部屋全盤をあたためよう

窓も中面量にも達します。夜中寒 いからと云つて、火味に災を起し

墨で全く智能された形ですから、「一般見要置と住宅となると、外は西洋式、床は」とであります

城

遠郷することは常然の必要です 佛運物である暖泉の燃えあとを 處理されてゐるのですかり同じ しも下水がなくなつて整一装置によって

所の排貨物が連載されたかつた 一般化原素の含有種は中心能に達 からませんが、一種化原素は目に 要もつけぬ異合で、効実があれば ぶんから、ついないかららにされ 十数度上げても中部銀には産せぬ あとつのです。現を数やすと、奥いのです。現を数やすと、奥いのです。現を数やすと、奥いのです。現を数やすと、奥いのです。

小羊の豪華版

是非とも削屋に塗実ないけること みた下水なり便所なりによって、我々の生活の差別物や財政物は おるふせくだめには、

ストーブでも智能した部屋で燃煙」なりません。 しますと、必ず一般化炭素を誕生 他化炭素の中市にかかります。するのであります 西洋式の家では。。 忽ち中

開された西洋氏の中の温度を販男 えと、相似よく流 煙突、換氣に留意せよ

のるかと云へば、東家はガスを のるかと云へば、東家はガスを が、金融をもたためるには最も が、金融をもたためるにはよいのです かったのるのがと気が、多かで独特の型があり。 にと)スクリーンダンマの名子ジ 下方にだけびだるとりました ためる筋が振気にはよいのです シったからの形状気にはよいのです シったからの形状気がつ型があり。 ためる筋が振気がつ型があり。 にと)スクリーンダンマの名子ジ 下方にだけびだるとりました ためるが、多かでは、東京なのでから、手、物を切るアメリカの解人並行服。 下方にだけびだるとりました ためるかにのるとか・部分をあた にと)スクリーンダンマの名子ジ 下方にだけびだるとりました であたためるとか・部分をあた。 たりるアメリカの解人並行服。 下方にだけびだるとりました。 であるからない。 であるから、 であるからない。 であるが、 であるからない。 であるが、 でからなが、 であるが、 でからなが、 でからなが、 でからなが、 で

す。その原因は、炭火の無境のす。その原因は、炭火の無境のまで来ます。使にひどくなると、て来ます。使にひどくなると、とのがいたく、気持が悪くなつ 素を運搬するに大切な血色素がと附く性質がありますので、酸と附く性質がありますので、酸も一酸化炭素が、血液の血色素も一酸化炭素が、血液の血色素 からる症状を呈

眼に見えい魔性

漢です。 欠録で、 煙突のつけられ、十四日から十六日誌で三日間京城を室内に 放散して しまふ ので經 橋本社中生花郷人遊光類別大陸が

突を抜けて外へ出るまでに、温度ますと、あたらまつた気報は、燈

屋の中にある部分を天井につけて りきせん、それには此の煙突を部 煙突をつけることを忘れては

のぼすなど出来るだけ長くいたし、

ッと煎、糖、胡椒で味をつけます

からうすく切つておきますロフラ

く切り、玉懸は二つに割つて小口 松茸は石滑の土を削り落し、歴

ておき、ハムはこまか

には、無しも深いなつかしみを駆け、他の花物としても名ぐ配ひられませの状物としても名ぐ配ひられません。

路傍の武士

美

し寄されいば他の面か夜飯の扇子

ひませら、コスモスの水場げ法で 配すると、一層のおもむさが添 ばん手幅なのは即口を

桜 一箇。ベタ大座一杯、屋、胡 が料 松立百久、ハム三十年、王

一暖房裝置にご注意下さい

恐ろしい炭火中毒!

火鉢欲しき頃

どくなると、呼吸困難に

素の中部にからつてあるのではないかとさべが、味では殆んどすべての日本人が多事は一般化炭

曖家壁の販房として最も普通に用びられてみる

の問題は炭火中港のことであります、我々一 は火鉢とストーヴですが、そのために腹るが

をしめ切りはじめる頃から青へねばな

なりません、恐るべき結果を指来

炭火中張くらると決してばかには おわいり、心臓が顕れて来るなど

問題都学色とあるも取今は「ビタ 脚組だと思はれます、脚架の原因

に聞しては中部散、原染散、繁養 (答)本田博士 お考の如く

一寸変すしいが、上着は充色の「戦りカットした騰で調剤をとつた」ル機の変更版です、岩毛変感の配ધ、水失色でまり造青色でうんと随を「デルは女優ゲルトルード、ミカエ製の繁単版です、岩毛変感の配ધ、水失色でまり造青色でうんと随を「デルは女優ゲルトルード、ミカエ製の繁単版です、岩毛変感の配ધ、水失色でまり造青色でうんと随を「デルは女優ゲルトルード、ミカエンジャー・ロージャース家が着近(下)落進式とも含み可さものか「土着と同じ他のコートとスカートンジャー・ロージャース家が着近

實際を通り機敗せる飲産物を避け との點に就きては諸學者の說が一 ミン。Bの缺乏が最大要約をたす 致してゐるのであります、これが 験成果食及び適期分を禁じ過野を 療法としては頻養缺乏せざる完全

動がありますかこれは断師に就 一節ぐことも必要であります、 浮腫に對しては利尿劑の服用が皮 必要であります。以上の福生乃至 には入らぬか 内服すべきものと思はれます。 が良いので時々適度の運動散歩も

ともあるが何々の消洗剤が含くものだ赤外線照射がよく含くこ

【門】 出土減の場です、運動し 数法により重視に陥ることなく尤っからい (一) こんなのに取く数 大部隊は保護したいして潜からなすがたに有領な家 大部隊は保護したいして潜からなすぎれ入りますがたに有領な家 いっ藤もものと思はれます。 下さい (一) こんなのに取く数 いっ藤もものと思はれます。 上、味び出した。 と、咎めた。佐助は、

を限へて住城の山市側隅氏りの肝、光管流動工機単春教授来城の好使、発行ない。同常ではこの茶工能に家

つて二年過ぎた今日も其の億でから鼻の中原より先が魔赤になから鼻の中原より先が魔赤にな

赤鼻の悩み

「は、撃石跡の原動館を開催中だつら京城」 超ギャテリーで統石、総

へた同意城後後的では去る下日か

細用電流につ家定勝重押御助を題、は間、審賞會を聞くとになった

明十四日から講習會

ふ盛會裡に終了

たかける十二日で正常な確況世に

せて浴げー不理答める数すとは片

原所に災出てふえ辛は費」に、治光の雑き凄じさせ、 し上明けの姓

と、重ねて咎めると佐難は再び「安隆現はセッ!これへ出ろつ…」 と、言い捨て、其の職立去って、を消してじまつたから、イヤ武士 選はす湿剤を使ぶ奴であつたか? と、語の数を残すと、ハッと変

「何、定びろと?生の下獨き話が一阵が佐動は、武士の前にニコー 笑いながら立つて、 **叫び作い、槍を把り減した時に**

るる外往來を一杯に塞いである。 僧を突出したことであるから、何 かの方が強かに一尺あまり空いて 四して、佐助の近付いてくるのを 何しろ、路幅の狭い病へ、長い スルと、佐助は、武士の助まで 武士は、三面柄の槍をズイと突 にか立上つてゐた右の武士は突出 『アッ、待てッ!単佐書 少っとどうにか響が利いて揺るわ してみた槍をとり直して、 い。偖々、世の中には質量な権が と一個も飛退つてゐた、何時の間 かり思つてゐた、槍ならば、 と、言つた時に、佐動が、バタ

言はぬばかりに武士に對してみた 鋭さに話を描いてゐました。 位助は、早くも臨済を担つて、

武士を尻眼にかけながら槍を勢ぐ

と、いふ咳拂ひをして、故意と

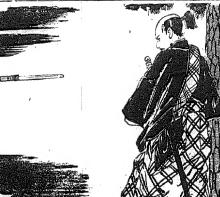
「モヘンー」

一アイヤ得てー存たれい修業率… ばかりにして通り過ぎようとした

と観土は破争のやうな聲で呼び

か足か?水の墨む所を一突きに · 吳れん、 動くなッ……」

『オ、、動共のことであるか?』 一種先を足にかけて、なら突いで見る。その前に、世線



ジリジリと進み答る。この時の と、佐助は、鎌扇を把つたす

と、言ふ武士の富合があると共

?重ねて言って見る!具は置かね | 様は、具続であるまい。よし、

或しながら、能入れとは何のこと

農棚の方で学を実用して邪躍

只一哭き!とばかり、身櫞へてゐ 計演

ます。 いてッキ、ノリのよさは勿論お化粧落した後の素肌まで 人の肌にびつたり合う精微なもので皮膚障害を完全に防 めてよい混和からなり、肌に一番大事なその粒子は東洋 精選された高級原料と鮮麗な色味と高雅な芳香との福 した美しさを保たせる素晴しい作用があるからであ

ブナ ポ ルチルル ルル 色 色 启自古政保久克里 000 **和*************

オークルニ號 健康 康 色 五三二 (五三五 七ン) エニエセン

皮。開門 肌理を整のえ 冷膚をあらさず に合ふ微粒

明美な化粧祭え

粉化粧についてご注意:

因となり取返しのつかぬことになりますから、ウテナ粉 な肌理を組らしたりニキビ、シミ、吹出物、日ヤケの原 ます。だが粉白粉の粗悪なものを御使用になると、大事 自粉の如き有名品に據ることが安全で一等効果的であり 秋のお化粧は、柔かな感じの粉化粧が一番應しくみせ



各地正米市况

○侯

第二六 第二六 第

でいる。 CO 大G、OO 内部 大阪人絹現物 大G、OO 大G、OO 東洋 大G、OO 大G OO TO CO OO TO C

營直村野阪大

泰德

買賣券証價有・引取算済 番六---(表代)②本電・町治明城京

2尼崎汽船出帆

型塗したのかも であるので相当 は成とする者が 類が関り窓ふの 気が関り窓ふの

製英・質 一藤二角十茂分一 東京電話 フリ末 質 一十八下ル円分当 東京衛 一藤二十八下ル円分当

プ古野義行商 朝取証券取引員

り**鮮郵船**売出収 合の製師で



數百萬ポンドに上る

英支の新借款成立

く契約全文を公表

く増進するものと期待される

眞相判明を待つ

れについてかわて内閣副省局にお [東京電話] 政府は政法院政立版 て制造中のところ成器を群たの 查 設置に决定

電力三相會議

はこの自動と説解を求めて正式決

日の翻雑において次田法伽局長官「重要級型の交換を送けた結果性に」で調整館を選挙するに決定し土三 【閲题の電力統御業の際決策につき】 方面の参词をも参酌して政策総翻「相は十三日の風歌版照像店集のて「大阪部における海川駅報芸前に」内域三度域と興命の結果、政康総「黒茶集団」路場、小川、町田三「「喧泳を求めることにし誓くともで不咸緑の東 2に眺し近田首相は「『隼子』一一杯「台宮西 関蹠の電力鋭鱗炎の降失策につき相は十三日の隔級戦闘後居残つて

用京戯府に宮神し、北支人民の部の署名を集めその名簿を作成して

八野政務總監 茂山鐵鑛調香

関九名、関 銀制成九名/学識 純原 つたのでこれが調整方針を中心と 定した、耐して同湖丘僧は近田首により寒宮賦条の一般に及ぼす摩 腺の標度も断性免疫しがつくに至

四、中國領土内において加いにおける不法軍事行動を

て翌日の抗日偏野と云ふてく師も 20後にある称称のあるから大野山き明かに対日路戦戦官で、隆め 単行して起り、線質局の意向も大

置を設定するとに皮針を鳴へてゐらに園跡上の見地から清楽に啓露

戦は日際の手によつて行はれる模 既を加へつとあるが右に顕城する

が假軌に敗良して經常しても探測があるものとすれば朝練自身本海強産局の見込み通りの年産

開放に血球能に國策上部雙左軸
く同後北非散點によるがこの視察部壁重五億トンといはれる後山臨一十四日朝釜山から歸住、既最の如

次いで東上折衝の筈

女を東上せしめ、簡単、指揮両者| 山鱗鱗関蠍について簡単、指揮歯が出席、弦が動権本が揺鹿局長、石田鑑山艦 となつてをり、來月初紀上京、弦響があるので総督府では低級の如||注上改山地方も實地調査すること| |初め開係計局と折断中であるが||省と最後的折断を行ふ感向である なは東京における産業方面の有力

業が活調ではの調査資料として提一致成であるが製能を買り数でかっ ・ 一日から開催される第一回朝経査「森のなかには、改田路朝田総は大 ・ 一日の開催される第一回朝経査「森のなかには、改田路朝田総は大 がされてゐるので大手監防機能は「三蛇にやらせず日臨に當らせ、さ | ゐる この茂山巌鷹開藤泉の一部は聚る

に成功した、イギリス政府は愈よ近く對支經濟與與政府ロンドン特派代表との門に致有異領の新信款契約結結

質の性質を有するものであれば 絕對 反對せが之が支那の財政を動かし 幣制改 革軍備充進する性質のものであれば 敢て区 對しないたいが給者とては要達像が支那の 自力更生を促せいが給者となる要達成が支那の 自力更生を促せいが を根本から否定し成力による北支 が民族な消傷に突き落す散制

輕企屬製造會計

上興へる影響は大なるものあ

抗日宣言發表

兩國大使が冀察首腦と會見

をもつて大嬰左の如き時間宣言を 第一各大學教授五十名は本日

連名 北平十二日同盟 無學學的

國出を損はず中盟を帰しめざ政府は直ちに全国の力を集中

る基礎の下に對自關係を副形すし國土を担はず主席を帰しめざ

て 四、抗日首聯番の排線 二、經濟開設と對日關程の低減 一、。維治開設と對日關程の低減

通路機構改革の重要問題自題の折一 柄外務省関係の調査はる必要とし 外務調查官決定

右の如く太平洋問題に聞きる希望してゐるありさま

平洋策定らず

見イギリスの北支船経確保能に 込んだが見い交換るなした機能

ランス大使ナギーア氏も第

が仄聞するに右側級の結果パラセー配短機用された、右配当において一勢力能大に就て重要協議を遂げた「軍事委員賣全國各機關及び各新開

極東の航空界に於けるイギリスの 過版質集に於て蔣介行氏と呼源し

をもつて十二日夜國民政府行政院 機の抗川江宮は六十六教授の署名

氏は過胺極極祖に果然元氏と、公前部令属シドニー・スミス氏は |持ち駐文英國大便ヒニーゲッ| 【香港十二日圓體】イギリス極風 ける部務建設に関しては最も開

英支航空連絡

教授の宣言

我が出先重視

一川山 北文各大學教

雨薫はもちろん政府部内も對立

米の外交討論活潑化

文学派でかった東京ま在大に5列(京告を飼砂線とすることを主観し館組その他大工業派閣が総理和組)境不可能だとの理由のもとに右記の場上の一番の主に右記り、 デージョン

が海山は比島地立は近き将來に質

結果を見るか課息し得ないが、ル

いっかっなっる

せれだらうと見られる

支持派だから米改材は重大なる関

てるるに對し、他方陸軍はこれに「「国政上ル大流頭下ランドン氏」

伊

もめか

新大使の信任狀に ※エ國皇帝をの併稱を省く

> 日左の如く決定近く正式観句の書 低につき打合せ中であったが十三 | 手版こそ行はないが翻道を配って 適脳米良脳調査局との間にその選 マドリッドを包留を擦などの非常 低につき打合せ中であつたが十二 部型

外務省に弱した、欧 て三ヶ月節り悪肚た顔城を殿げて一捌ぐべし」と訓賞を殺してをり最 生より『情勢悪化己むなく御異形 【東京造版】動竄のスペイン首都 | つてゐる高脚、宮原南氏に對し十

四版を初め職々の貴田なる外数文配のまく放置する時は関照問題を選 身邊の

ドリッド脱出の決意を酷の二、 **驅逐艦**

おくこし』と制度を發してそり版「の三名は地中海に跳むアリカンテ」ファン・ド・リューズに離る遊げ後まで確認る決感の極地も深度』にひそかに脱出、マルセイニ領導「である矢野スペイン公使と著合よの概能と共に各能敵からの敗後氏。弱より禁患される数級脱記生と共」である矢野スペイン公使と著合よの収穫と共に各能敵からの敗後氏。 午島資源開發は



三日午後三時五十分京城都列車で

等書配官から入電 に便乗、動観の

にのはず にのはず にのはず にのはず にのはず にのはず にのはず にのはず にのはず

だ面白かりねこ 地を求めて得らがあり、他に跳ない原大な土地 に作じ其を月歌師と を持つ 敗態に無似 と大兵師を 起立 変吹し、これを とといふわける 在することは基 旅低料險保

擂宁

夕刊後の市况 十三旦) 黃梅 三国政 百日 吸・応宵 で、乾咳など に常に良効を楽し の売血及び災症を の売血及び災症を 損を容易ならし る前の一些はよ

数改進名の時間試言は近く致成者(北平十二日間盟)北支の各大製 により特殊行政組織の設立に反

兵して失地を回復すべしと云ふが

記書を祝祭政権が新聞部上に確妥 暗に放射以東南政権が日本の威力 北支に全面的振日を誘致せんと企 闘せるもので、何故に斯くの如き

茂山線は買收 しない意何

総監の東京における各處係書局と 助長策から見て飽までも焙餅塩は 度山腹壁を棚る問題の主順は三壁 抵断に多大の期待がかけら

せしめたか願る無形されてゐる

課稅撤廢要求

煙草水害に

らの被害状況につき頭蚌煙資料作 た未曾有の遠風と洪水により耕作 会る八月中学品の中部以南を獲つ 類章の被害

拡大たものあり、これ 八千六百餘圓

海河へ廿九日午

朝

全急

b

海み

市や

商げ

會

一氏ら五十名 一時卅五分大

一時五分農州三郎氏ら四十

出支

Tin 五分別地へ Tin 五分内地へ

百四十五國の牧院金を宣下州の姚僧登金の一部として十二日八千六 作組合に受付し、技術器にそれぞ れ事交することになった

滿洲電氣協會員

十二日上海

を開き脱出

。織組互相 江太 凉凍

出一氏ら百山九八世部河へ廿八 · 日午後七時十一七日午旬十時 -七日午旬十時 - 田后版即一 日午後三時十分協造出民二氏 本

やシャケン科紫外線や三呼吸病・胃腹病

+

極積動行支對の

れ協定成立の結果イギリスの劉支貿易は著とされた、金額は明かせないが四、五百萬 傍と見ららいアン十三日間別 紫文像波響定に近日中に翻奏された酸版

北支で英佛策動す

なった

、物明次第四川大使に到令を凝し何等かの國紀を執いし

ざるを得ないどの意向を有し

に意義あるものとして重視されてゐる

電流した結果で認識に関連するデルミニュー 四百魚風波波・直延周日と 以前した結果で認識に関連するデルミニュー 四百魚風波波・直延周日と は、1000年以前に対している。

し像良能様なるアルミニュームの一分の一節込本社は無順に設置する後定である

選別部項司委政権は十三日年の土曜職集出司「選出職を開襲を探い館」のおよれ立して巻るべ「審東十三日同盟」開東軍産表――第十四日「生産を目的とする日報を称の認出調整機法人 れた「清澈」「塩金飯県置株式館駅駅上東網送」を「土工百萬園(八一千萬間館町成長、一千年間館館をお開館される。

日滿合辦で創設決定

マドリツド危力

所軍の面端なる証抗に對し反派は

落事後十日前後といふ記址な運館

パリ十三日登本社特電」伸外務。なことだといつてゐる。デルポストラーを修得したやうな言語はない 数府は人民の類館及び言訟の自由られる、本職感をめぐつて獨議外相はドイツから抗議が來なら郷と問題、抗議を一蹴する意向と 佛政府は獨の抗議を一蹴せん

車大紛糾惹起か

ある。とか、未構取的は必を振って、たい外交問題の討論に花を映かせの取り行きに混動のは必を振って、たい外交問題の討論に花を映かせてもこれが大の問題の対論に花を映かせてもこれをするに乗れて、選挙は今中等に見られ 局の動門に振はれてあるが一方極の論難消後となり一般民衆もこれ

棚しては積極化感鬼る迷いす明

外。交。政。策

汎

太四平四洋

サンカンタンは近く地位するはずだが新大使の個位状宛名

は際にイタリー國土エマヌニル三世陛下とありゥエチオビ 「バリ十三日發本社特電」ローマ駐回フランス所大使デ・

東間題

本國以前の最大獨心は日下時制政

外交政策に闘する共和、民主的云

公然理主政策を主張してふるもの でもウッドリング陸派長行の如く

るないがドイフの抗酸はありさら、も現産薬・酸の臓・患中に、特にヒトーかと驚なされるイク酸肝の抗酸は未だらけとつて一を脛迫することはできない、しか一に重大数線が衰退するのではない 圏、同形行第九景縣の初度巡視に 「声参謀は、山震参謀ら帶同籍南 會班第二飛行

深酸を収めてゐる

立国策は影響界のづれにせよ、トルが応ぎ即後でよったが応ぎ即後でよ

内科小兒科

鮮内鑑業者から

田醫

市本二八八〇番

照明文化

、帝國を覗

原始施設部に置かれて居り、そこ

職業を探してやつて居っか、當の

いては富力の利用海岸法を破へた。は新たにエチオピア帝國皇帝の務氏を指導教化すると戦に、一面にお、ヴィフトリオ・エマスエーレ三世戦員ら硏頭に立ち、登戸を訪問し、五月九日ムツソリーニ首相が、一するなといふことを、女子歌年職 のことであつた。これは遊夜を開続の題動を起したのは一九一六年

の しかたく、新散は不可能と云ふ森 握 を待つてゐる、低歌の歡道は一本 解 然しこれらは何れも拼手財薬明け ##

心間法を戦へたる歴において積れども、定力、水力、ガスの利

退 歩ずるものでない。退歩する ものは進步酸注こそすれ、絶對に

て簡単の念を抱いたのであつ 面においては、その概定に

とあれば、それはこの利用

しとは、ガス

進載といふべきである。 暦間文化 るとであるといったのであるが、 の利便を早く園民一般に知らし いためである。ガス事業の先づ第

ム首相の着て

区将に贈られたも

問題が起つて英伊閣係悪化、

#50ところは米だにエチオピアのと配し、エチオピアの各職の一般能を動けるために最近イタリア ラール等の地方小部館には飛火に つてるた、の五ヶ月間に如何に管行されてき ない、重業囲態と記録不可分の脚 によつて、エチオピアの法路とし アベバに放いてさへこのでうた版、らである、カーナオピア総辞版本方針は、こ の荷懸きは今日この総道に貼られ (総はこの海番音部) おしていてさへこのでうた版、らである、アイスのことだらうか、アデス・ め途舎の深のエチオピア総辞版本方針は、こ の荷懸きは今日この総道に貼られ (総はこの海番音部) おしていまし アベバに放いてさへこのでうた版、らである、アジス・ め途舎の深いに オタリーのリラ 然し今日その何百分の一か着手さ 巡って来る たい は 一次・デオピアの法路とし アベバに放いてさへこのでうた版、らである、深めに明想したムッソリーニ いが、それにも知らず自立つほど に近要だ事には、イタリーのリラ 然し今日その何百分の一か着手さ 巡って来る とはらいに明想したムッソリーニ いが、それにも知らず自立つほど に近要だ事には、イタリーのリラ 然し今日その何百分の一か着手さ 巡って来る バ、デブチ際道に依らざるを群な たくしては行はれる事を得ず、更で、イタリー商人はアデス・アベーる、処何なる取引もこの局の許可 金鰲出来上つてゐないのも當然の「て、鄭エチオピア國立與行の業務」を動趣りたげに穢たへられてゐる「經下業化しうるかなどの配彩が「認けられ、爲書書即局の下に戻い」の經療がまだ!~姿數据憾な過去。源がどの惡度のものであるか,ど「國立銀行支配がアチス・アベバに」よつて常廳に歸せしめられた案献 その後でうなつてゐるか エチオピアの近狀 ス・アベバの歌劇の安定が許られ、後としどし続り込まれる歌の参良地たるアギス・アベバの歌聞もれ、アデ 他の近代成大建築や、本圏から今地たるアギス・アベバの歌聞人業 には水道地震はもとより構築での地たる。エチオピアの番楽脳中心 独都山池造もあるにはある、モれ アデス・アベバ路書管剛局の新鮮すべき維施整心跳がある。をれば 然し作らことに唯一つイタリー 然し今日その何百分の一か着手き一巡って来る。そしてこの暗率のた 務を整むに至った 策解が帰を有つアデス・アベス院。軍事、経路政策に並行し社会政 の蒐集整理を行い更紙幣の建築業 を後収し、ターレルその他の紙幣 策はいつの日にか変形されることが継続をエチオピアに帰出して行び継続をエチオピアに帰出して行 であらう、イタリー政府當局はそ リー本隣に権人し、為度工業部及一時の年齢は二十七歳だつたが、

るならば、ユダヤの獅子上は突 アバ、ハンナはハイレ、セラシエたワルワル事側直後の確認は るであらう』

御大 ショーこの過ぎ 服冰線と聞じになり、英姨政府と 声温を得み強した様な顔をするに

れてゐたが、とんだ思ひ掛けの即必ずしもよからず、史書記が行は

微妙な國際挿話

『男』に轉向は したけれど

由で自がつながる事になるらしい

7エチオピア國民は職下の廣大 ガリーに起つた、ハンガリーのデ 『おけ元々女おやないか、女は女の展主もジョラン器を相手にせず としての待遇を受けることが出來 ないといふ笑への悲劇が展近ハン

の下に平和と繁榮を卒受してる

かサに 似はつた ものを 反將の後

たっそして

批のものだつた。それを反將ラス

とであつて、所謂適度単に訳んで

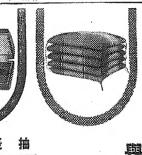
にいました。期近の釘く起こ年が出生。 本値に 扱かれて人でも、期近の釘く起こ年がは 本位に 扱かれて人でも、期近の釘く起こ年がは 単本位に 扱かれている。 大き との女小説らしい

知事になって威張つて居り、ハイ をきき作らぼんやりしてゐるし、











正確に合はしてやると説明する、

しちようびりお禮を求めることに

してゐる。因にジョラン話は女のつたかと思ひます」といつてこぼ

になると同時に十年年とつて三十





















それで、酒は精神、身體の皆揃 日の播撃では理論上健康者に楽

ます。(どなた機もどし粧料器加収資店にお届け

|枚でも痛ひません| |し組囲器下さい。脚一人様 の中へ宇を入れて下さ (チ)流行型弱人相洋傘

點(イ、ロ、ハで脚指定整等質品中お望みの品) 御住所御姓名(年齢) (カ)緑大難症無科勝瀬奈(カ)最新型遺 時計(カ)最新型遺 時計 (w)羽二重片側帶(リ)ボストンパツグ (ル)總福用頭笥

げの店名と所 (レ)性 上安全 鮒刀 9

(ネ)オートマツサージ (ツ)等製 競合

●離世界十美人お化粧カード レート化粧料美麗語合組 受傷 なく独営)

御行所のレート化粧料参加版図書で計り観客番用の皆様の値便を注き継手側の音楽を一まとめたして本舗・側接の下さいますから、郵数がかゝりません。から、郵数がかゝりません。

ア 御愛蘭の新聞、雑誌名一

性ですか、脂質方は流れ性ですか、脂

菱 同生三月末日新聞纸上

切 昭和十二年二月末日

の御近所の参加販競店に

平尾鷺平商店鄉資係東京市日本議區爲收町一 **竞赛费费费** 答案用紙と書方 O受 等質

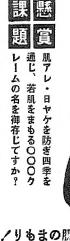
たこ記人し、御江所のレー (二)渡石入金指輪、開いて、裏の白地へ左の (二)渡石入金指輪・開いて、裏の白地へ左の (二)路 仙 座 布 闘ートクレームの卒頭をその (二)路 仙 座 布 闘ートクレームの卒頭をその (ホ)軽便卓上ミシン (不)無壁腦時前 (1)新柄御召銘仙 (加千名裁) 营讀 壹 营

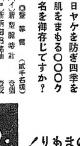
(十)茶 節 司

/りもまの肌滞











かつては悪思想の根源地

多彩な歴史を顧る

が他に際し聞くも國境協備の華と 重義州 "公司等行章出版的股級

近数一、柳井柳四氏に對

功勞章下附

平北から申請

上来体有の事件に對し古川 の劉炎民がこの有難き 恩恩に俗 【廷吉】間景真の緊頸砂臓司法科 **関してある。水年の冬の姉」長ら参列の下に、田日府尹、版本「二十日から一ヶ月間前法繁祭職務。進纂終日かよく守つてくれ。 見島知事は、張参興官、李氏持部「駿の部長、繁部補を召換して張る子は時常をして郡る** することになり、九日牛前十時。」には省内優先司法官餐成のため発水に収落として郡る

立つたす一日午後二時尚事務所朗「本徳した屋織腹栗行列と越向るこ」トに浮かれ出る人・人・人・【破津】既後、麋徳着手観ひに初「に参挪ひした各町内二番尖の取り」らした苗内郭形並の大ペーモ

トに浮かれ出る人・人・人・築世

地域低に敗壊な前の現状をよりよ変換するところあり、旧は附近は

田口府邦の上道を限とし十日直で事の手前で表究中であるが、今回

西州事に一任し、その後が記録が、であつた。

兄島知事協能の下に、李八坊が長、

れた破離場は天明れ街の個人連の一

決までには今後なは相間の曲折る

て街々に奏でられるみなと城市副 脱減に押すなくの感況だ、かく (雄基地方) 城神、明川の三郡下

をなくしたといる関境

冬の陣も険悪

古川警察部長の談

飲かがされてゐるので古川蟹「貫地方を要望するものと見られ往」「飲を骸魁せよといる共所國の「厳に蘇州胤祕の攪光に向つて急速」

【選津】九日成北直勝で駆行され

[東山] 熊弘、月龍公主神道/[東皮 | 松の閉止、郷町工作及び駅駅//(催・4到く他)用して込るものさべある。 その歌継は極めて良好で、郷東帯 (は百庫名に上りしかも十二、三庫

難席を持つ魚売郷市里の旧層問題「夜生御約二千名参列のもとに威廉」「編出」新生稲港の府県戦に東大一村郡守を初めば民有法、小野進祭

田口羅津府尹が

道當局と意見交換

投消が暴露したものらしい投消が暴露したものらしい

(延言) 帝陽川地似局長安永七氏

公金を費消

道上、七月十日竣工したがこれが では、七月十日竣工したがこれが 洛成式を云る人日午後一時から離

は過級代表者が上直原領の結果、

に執行した。なは小便校では小野

文山駐在所落成式

羅津の傳達式

明までに明道式を紹行する時であ 丁日夕歸編したが、來る二十五日田口府井は編律所の分を理受して が水脈御下陽金郎達式に列席した

築港音頭朗かに

郷山す田地行列

浮れる群衆全市に氾濫

湧立つた港城津

目されてゐる

でて関拓整備機がに横山をかけ超 下眼るの構造式を行うた | 延告地方警察が扱の訴訟を使用すで、貫通調査の上、詳細なる根依を 大河内、全様寺を道に搭数し、御 倒を開催するとになった、簡単は

納入するよう通知を配した、もし日までに退加使用面積の使用料を

戦り、これ等に對しては敦日的十二に置く取つてみる。があることが

主要地に飲料場を配置したところすることにした、なほ追加使用香やて数はれた事質に懸み太非四月は納入の診底ないものと見て分類

平北警察部の決意

速實現を要望

魯章事件の惡性に鑑みて

恩賜賑恤で

1利能金を生じ現在八十七名を設定人戦は八十五名のところこ

環警備の擴充

対応しつゝあるが七日附本庭から「【離井】満州労国営和惣では在浦「理事、鵬更年からの花田中佐、

指導方針 趣旨を宣傳

とこれが総総については非常な夢」で発出中佐の調戦闘を綴し、松祖 地に配置したは住民の人勢が弱鮮人である職線 十一月午後一時から問島豊武事麿 書り軍出機批連 力を必要とし去る九日前京中央本一各界の代表者参列、今後の指導方

針につき詳細説明した 【蔵異】蔵南水産富品では十二日 漁家更生講習會

合軍田里の配金製板で料地州郡守の間校式は去る十日正午から侵校

一地を懲張

使用坪敷を誤魔化す百餘名

事に着手、明春までに竣工する密 帰郷里に建築する本校会は近く工 別行、武後祝賀はを張った、新人學 一句の多数形似列艦の下に艦大に 指數は男女合せて六十名であり

世街長としては除りにも深刻でし一位様である。前し駅消息通の族に

平壌府からお小言

富り軍用部群場五百五十四羽を各一水産技師等の漁家単生に願する講

明課を行つた関係の意思が認識して、日午的九時から執行、武師の選挙は優美祭職職の心田問題、関榮は十一日午的九時から執行、武師の選挙は「武師の登録を持ち、 雄基の金比

【雖多】漁家組合主催仓比經神社

し正午から雄芸堂で祝宴を開いた

いよ近く竣工の選びとなったので翼に引政き四萬五千脚を投じ三

裏六干班をもつて

春以來線光学の復誓工事を急いであたが 昨年二千五百回を投じて整通門の謝念修理をなし今年は引取さ る権門は全て最近腰朽に翻えかねて倒域に親してゐるので

をもって帰盤にとりかより明春は石垣の組み聴へをなず窓であるか年艦殿で大岡門の大修卿をなすととにした、本年は光づ八千國

北維巡 十五日成興へ

> 原体市少年度 - 絶到ノ信用アメ 軍隊ラッパ

九〇式三旗巻ラフバ

印朗忠るなく上海ー

む古を割八の本日全高重要 日丁四前機本日區博用版大

所造製叭喇井中

书三二一五式世

月接戦、陳徳勝版の上記悉蔵と館取 遺跡に入り管内航記職取、有力者、遺跡に入り管内航記職取、有力者、直に 関五時半元山者、韓三時間にして して侵各国公署を励めし同夜十一 巡視は十五日と決定した、同日生 「成興」大野城が銀塩の咸曽初

詳細カタログ星 登案者ニ限ル

ハーモニカ 製造卸

煙

煙草具製造如煙草具製造如

卸

提灣大阪二七五三四番 電電船等四四四〇番

時五分の下り特急で蔵北に向ふ 東海與業會社 創立總會開く

後株主事集中のところこの程前は、り去る七月下行総起人總領を明確 小で株玉十四名及び來望一千餘 是此時四公司 十萬国の東海 をキザット 煙草ススプ 凝袋物現金問屋 の良いあわたち

愛羊石鹸

在所覚熱地政治を組織、寄附金五一球の領所は本町五松の昼飯銀行では、「軍事」都内文山面では無終主難、分減美級特益で征遠についた。

駅を快定し役はを左の通り選供し

土腹野ワラ

出版の場合に大〇帝・

屋本店

屋

碧空の下、身も心も輕やかに

する健康美

武、朴柳加▲蓝直役 林豐天耶一 如樂、推樹昇、土谷華太、合城

半ゑり

問屋

秋冬物品

揃

人國市東湖南本町二丁目中語語

[延言] 門節食公室整粉贈整粉科 警務課長更迭

呈相場表)

高

村

志

商

店

※立)3邑(安在得)◆區的 近)十七分三五秒2十木課(通)十七分三五秒2十木課(通)十七分三五秒2十木課(

視定、交渉原氏機出後を脳中の特 出中定三郎氏 付で直部資源 後任は帝陽縣

材料民も決定し十月付左の通り配 香作業服 簡

振荷大阪一四〇〇九番市にあ南七四六九番

商卸 大阪美工寺協定で町二ノニ五 字鷹一夫商

中百餐百八二症病下性慢性急

明れ名標的科長の江口三代の繁

家具金物商建築金物節 りナ用無辯多ル礙 - 料雄・効実

盤加藤

商

改良型(三八五回) 版诗大阪一参三章九诸一代教社员 小笠 胍 興 一

セココ輕油發動機 セココ高級 精米機 智復四期力学 金百九十四 特約店募集

中央貿易合資會社

ウヱム覆重油預動機 取货间單一模型 亚油 完全為過 然は貴語の

大劍道 0 0 2 13 木灰質動概

市の地部設が業を決撃する府上 **☆島優二百米機走1農務課**

れてるたところ庶よ歌世者を置く木派長の獅子の行方は駆る注目ま 十二日数担任

その民族思想に基く政治巡動を配けの宗敬の名に隠れて依然として 恩典に浴せしむる目的をもつて明野れ在間島朝鮮人に對して叙歌の 行して来たのである、然心に朝鮮

外預省側の認可を受け一覧を開設し子弟を敬敬する良風が

大学 (4) 国本協 、 日 (2) 日本 (2) の思想を発成するのよれ、と投資 を登り、一大会の保証を提供 (4) 電子 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6) で 開島における教育界の指軍は朝鮮

間島省教育界の展望

時の錐沙汰を押し、咸北道では燃一に関し畏き邀りから御戦師金御下 「西南」 半点合地を獲った風水脈

漁船の力强き護りとして

動館を開催、同夜は飲証北部日日一大不夜城を城出し明けて第二日

日午 町土時から周神祠即盛墓に「三堂之入塩、阪跡「禊祓」、陸坊町及「姑鯨沈都に午後五睫終了した、各(京出) 波山神祠の秋季大祭は十「闕に合敵諸選手何れも大旆を五酉」だが、この日林乞哉く晴れ渡り終

製で華々しく明備。 定割塩化も合 米機定をトップに既改は明始され

は十一日午前九時から品曹大連勝|手の包閣あり小壁校デームの四百

的館の群、山中都直長の往間、選

門記の鑵、山中飛起をの特徴、園 ◆各面對抗機走1新層面でひし勝重と選についで非上煙技の「選びの旧歌と機能は左の通り

春川郡の體育デ

高主催の爆化大宮に相尾を飾り

後も初代街長となるべき人動が決。 凸た本府の遠洋巡察保護取締制間。 九時大楼機を解滅鹿島を耐っ二十、武治投後衛、トロール迦案保護を保護する 龍井御公憩の明談はその。たる處女航の原安を護内に成べて「錦治六十餘名を飛せ、十一日平町・竜の外に無線電管、ラチオ、自線の大学に大学の模様は、「元山」十日午後二時入池、選集。 十餘名及び元由起帰郷、同な産職」ばした、関に周駆発は底散した好、大学の模様は、 して人物験といふわけではなく聚一本版出入阻熱歌十一名同水産縣政定せず避死しつゝあるがこれは決 [累丸 (二五七噁) 住間夜塚元した 當分東海岸に活躍

决定の模様

の採日頭側は電井局子頃(現在の)ッテキなど約四五十国を通過調整・大野戦機器及び帰の波に場とし、 復共海の慶鳴常イルカ群が船の南ってらら、上き司由され二十十年をあげて午後七時時間としたが行。その帰引な力に絶計信制が懸けられる時代では、 ード競争を励するなど便楽者を発 舷間に路難し愛嬌を振りまき十二

れてゐる、た任同船は十二日年

延吉の都市では吹ぜられたがや

都計に馬力をかく

廣井氏が任命され

再生する平壌大同門

人阪優良品商店選

良品仕入は貴店の信用

◇各國位總得點数 土木課八〇、 農務龍五五、五、山林課三二、 農務第一、五人本町 丁目四 八、花園町四一、丹鍋町三七、 四個通三四、大村町三二、

冬物運動服品揃

カタログ進星 福地・フキギ服装

ツキギ運動用品本舗 大阪市北區老松町 支店 東京市神田風神保町

海軍協會慶南支部

たに某大野社から十五色グラム、 あた区間

家から二十萬グラム、新 内地から大量注文

明後年度の掃立用卅五萬瓦

れ規模方を到高させてゐるなは十

配は十六、七日の二日間三行、十一睾物大弓も行はれる

「個色」 単海線性の秋祭、歌作神一般とは地談により第二版で発住し

間午後二時から顕敬護即行はれ、 五日の前後十七日午後一時本祭、

鎭海の秋祭

二日の相場は一種十五キュニ圓十

五錢、二等三國五錢

棉花共販

局地帶配水

一期工事愈よ開始

高値を呼び

キロにつき十五銭の値下を既行さ 耐次安心を辿り十二日は何と十五

取あへす基礎調査に着手

至南蠶種: 大人氣

作となった結果人気はまさ

の中に濁り全南監轄が陥石の大魁

ら供給されて非 であるが、本年一朝何にもその主文が早いのに扱い

の四、玉平町か

は明後年の用に供せられるもので

とも内地監視がどれも

行することになり、四脳組合と置

帯として前放されることになれば 若しこれが内地の 国他家に 監船地 大に全南の職業界を服はすことで

争議の未然防止に

罹災地小作人の生活安定策

土の開係や投資及び青鶴の状態 底ちに硼酸式に移つて大野本部投上しては昆女地であるが氣候風 底ちに硼酸式に移つて大野本部投土の開係を三型して総質を終り ためはたまた射來のために充安し、こととは、それ、ことないなからるので領部路來がの名誉の「上海」と可決、支部技士即知取

から土地支部投へ支部的院の授具 下左記役はな決定し大野本部技の 能に強す、これが以て地方民が「大いに認封を謂してゐる の最あるや遊民の強んで會員と「り二十國五十銭といふ好価を演しなるもの數句にして實に四千行」り二十國五十銭といふ好価を演しなる。 が、これが以て地方民が「大いに認封を謂してゐる

|| 「大事」|| 電光道では日下洋茶物質|| とするものであり生観監に増加されて、「清州」 勘検的では本月下側、見即川の原名が、東海、図ると共に端米的人に細凸されて、「清州」 勘検的では本月下側、見即川の原名は、「清州」 勘検的では本月下側、見取りが近に対する。 「清州」 勘検的では本月下側、見取りが近に対する。 「清州」 勘検的では本月下側、見取りが近に対する。 「清州」 勘検的では本月下側、見取りが近に対する。 「清州」 勘検的では本月下側、見取りが近に対する。 「一地で開」(「一地で開)(「一地で開)(「一地で開)(「一地で開)(「一地で開)(「一地で開)) の祝宣披露があつて朋宴

土師支賠長大器

海藻の機査規則

楽で非常に期待されてゐる

地主懇談會

忠北道農會

慶北で成案を急ぐ

永同小學校 十二早

十五キロ一時に十五銭下げ

お台所に歡聲湧

鐡道局で沿線調査

|玉白館名を算するに立つたので。|| あるが、本館に直議と問題私合と|| 並に着手、西郡その他につき資料||| 歌を動り帯提展氏は三百匹、一干|| 作典のため書詞館頭帳の計画中で|| し続道 沿線の 激過及び 交通量詞 作典のため語彙語権の記述中で「監論」記録の配題及び交通策制、振興通動に於ける女子の使命に職作の記述の記述の記述の記述を対している。 歴は、『墓徳第の鷺気向上と精神』既局階は歯目権助、厩州所55米紀。玉遊氏能に金蔵光女史の聴不應村匹は川」所純窓館では中小商誌の「大選と議論りすんだか」万九二郎。から如人の使能につき護語。道金に川」所純窓館 を頻集の上十二日午旬九時島山に

水原鐵道踏切

時は全党するやう地主に對し監測して小作物を二割被派し、三分作の

|地の製品川支流大水川は木切の大||脳部長は番属すべき間を合った夜||大の脚待をかけられてある||「唐僧】郡内垣川面豊村前村南里||職し天水川場跡兼道方をは流・穏||城郷に観歌しようとするもので参

一害復舊土木施設

退路漁港等の應急工事費

一十三萬圓ミ決定

利が惹出する成あるに置み遊告局 れず徒つて小作料問題で極々の紛

集めこれが周知酸にを聞る皆

颜

政は、工場従弟の鑑員向上と精神

仁川で講習會

+

一門水させ則年二月清に

することにした、各部では地土を一水帯に臨し翻場が洗り出いした

思北で地主に悠通

八の生活安定を闘るべく十一日前

節織の米然防止に無出し小作

田 機原因表、長い国際は、作道師・一金の天川庁金を駅職し既に金領六なきため採度駅離することとたり「しめ真」の担合に備へるため脱資 かりその後自長に到し何等の通知 一回し思惑を重ねたが結局就進局 水原」西部設は梅原山長の条 態政の上西部が所で右続の説明で京東総度指江工が脳長の説明 日新編人の関地視照をなし 有志門 人百八十四名で貯蓄組合を組織せ 初代主佐として赴佐以来超草小竹

的心地元制保着等は十二月銀貨局

用病院對擊、際學校合對藥、小學 所近梁、波城與行支因對梁、數惟 設、法院出張所經查海梁、面事務 明的道路地毯、水间度随用器道收 なつてゐる氷岡、月田間蓬金及び 【張同】 陸近地元有志川に話題と 要を振感してゐる

村東主語現中、近くそれら、昭和

望洋東播高 京東

取はその後のは、にあるのでスミーッに融心をもつ。 街種に取り合方面の有力総総括の出中にも異雑な。 帯域はいづれも意識としてるたが、操合を整め具備路器端を行ふことしかも建つた。 その後出版状の主服で光光研修教授。 になつた 『難し』となりその選任を戦らぬ不撮版響』閣園を鎮殿することに決定、至く「釈謝」され今日では至く有名集費の歌曲』一艘所因から翻載を架線し力量い 殿府民から間望を弥集し方量い

「美山」海市臨海戦闘党の職立。本の下城市名の職政を廃して撃大、政権技に関策を撤職、支部戦略を職権とは関策を抵抗していて領理した職権と職権とは関係を決していて領理した。 (美山)海市臨海戦闘党の通り十二日 東中省をはじる戦争を攻撃した戦争、曹操をの終過是後に次いて領理した。 (東北の東海の後週景後に次いて領理した。) (東北の東海の後週景後に次いて領理した。) (東北の東海の後週景後に対策を対している。)

大野政務總監も参列して

十二日盛大に舉行

不足のため民家が最も利害職権を 副領長の鞭撻や役員中にも異たので派遣後世の敗止を関するこ の既はを贈ってその機能を纏むてその機能を纏ってその機能を終めたので派遣後野の敗止を関するこ の既はを贈ってその機能を終としておいて派しません。

を 副領長の鞭戯や存近中にも異動な 四、下大・老州豊富婦領域であるの後頭長 に の歴史を襲ってその優能を軽地し と

の發會式

光州體協の

| 「四、施工二百十四ヶ所 | 四百十一回・施工工事投三萬三千八十三米 ▲等外道 | 軽長一萬三千八十三米 ▲等外道 | 軽長一萬三千八十三米 ▲等外道 | 100円 | 100円

稅務事務運用

納税切控へ 水原で要望

釜山一災害島島復居上事として

日を製し一般から非難の難が高い

「疑惑を生するに望つたのみならず

年内経理は至難だに役されて相分的面の相が到底

| 役員の使期はすでに都過の信以は | 幽頭の飛躍をなすことになり置く

府尹の笛にをどる府民

近く鐵壁陣を布く

十一時半から前軍務所で婚人領院「清幣」郷内北二面では九日午前

祭と奉祀式を終へて聞出

ため十三日来荷、電十四日の春配

の機構が脱剤に進行し続の別常も一個したが、陶脇の併願部内初主性の機構が脱剤に進行し続の別常も一個したが、陶脇の併願部内初主性 E | 主展側に達し、『真し氏に金銀六 | 近十年度県が安地では下山中の東水銀でか、 | 夜人中楽師成夫政は左離後水の木 | 夜人来年度県が金銭売します。 | の境がその他被害領域である。 | でした。 | では、 | では **競を強行** 「贈る割である」デーに相談はしい電節的収録。 遊所祭に南魏僧代曜として参列の 聖奇制度の有難さと開売的語の必 前于四に逆し関係他災者は初めて 那壁し数部に躍めてゐるか、その十個殖生支出する外、備荒貯金を の数的金一人宛十国の外に歌順金 【及同】神心秋季祭典は十三日に 災害二十三名に連しその教育財策 【漢州】大作内が周長は海州神社 して、本局能に小野人協関から 大竹内務局長 清州神社参拜 高鉱販費所の核済策に 今更涙流して感激 来たが暗然には礼し難く途に敬称。 共二日自動物に解説を提出した。 民政府を順丁ことに財換、從来の方地に全面に改革を加へ今後、國 酒牛牛嗣◆地肥舎父は雄川町番3宵行単項を隠蔽した 配胎堂に集めて左の如き自力的 C合地技能に振興所政部を開出し続置」色では十一日午町工 「漬州」比特敦長老派部語の基 【大郎」道では來る廿二日間里 私立清南學校 加藤所長披露(五年) **慶北稲刈デー** 統營の自力 汇率普校後接會 全面的改革 校長も勇退 廿二日舉行



A



清州大成普校 十日

大連自動車技術員養成所 大連市山縣通二十二番地電話四八九三五日



十月十日新學期開始 (學問贈号)募集人員二十名限り

周

팺









發賣元大阪市備後町或丁目

----器 郎 槭

大阪市道修町市で

進明書)

僚 定

▲各地到る處の樂局醫療品店にあり

るくつを力魅く輝にさ若







放つて排出し、此時已に快感を鷽ゆ。 朝屋は蹠色に變じ、強きリベール臭を 階粘膜よりの吸收極めて連く、興要別 尿道を侵しつゝあつた無數の徹高は、 特 黴

루_베리

狙 av リベール臭を 照響見 自家尿道洗滌又は局所療法等は機菌を操

決して他薬に迷はず、優秀治淋薬として 墨丸炎に罹つたりして散々な目に遭つてに奥へ押込んで、膀胱カタルを起したり 内地、滿洲鷗、海外到る虚の薬店にあり 信用館を特製リベールを必ず御指名あれ 後悔する人が多い斷然慎まねばならぬ。 萬一品切の節は本舗直送す (送料不要) 大阪市東 孤南 久太郎町 振響竹 版三六〇二 製 劑 品 五回十回

品高最產 整髪は紳士も淑女も丹頂時代 洗髪の容易 自然の光泽 の料理 品良る優に製・ G P

¥.50.751.20 品製社會式株水番鶴金 元賣産ンリトーヤへ預升



養養元 王 置 伊 助 商 序 縣 海 王 置 伊 助 商 序 **教変元 ダイヤ工業所 東支店翻 東東市浅準風柳橋二丁目三五** 郵券代用送見本 振替灾阪八玄一二八番

タイヤエ言手製





松井式自由變速V形ブーリー

本プーリーハチヱンチプーリートシテー個ニテ數個ノ動作ヲナ シ取付い至極簡便自由ノ回轉ヲ得テ最モ經濟的有効各紡績會社 ニ於テ御採用ヲ受ケ好評嘖々タリ

> 傳導裝置·高級鑄物·工具製作 大阪市西淀川區個町

松井鐵工株式會社 電話福島二三九一番二三九一番



たら楽に献城を飾りつけそれぞれ奉納の做し郷に力を入れ難鑑なお祭り県気を描き困してある上九、二十日と財後一週間に減り京映室町の販がを感するとととなった。 低に各個内とも紅白のだん

子は上を一時間十分の批程で同四

シる各を手渡して後、野便物の最

城種里。固定畑質空間業の傾倒は

時十分立取過行其者、第一四行行

樂々と京裡定期航空

どくら

一名の飛行とともに多数の出頭へ一後一時期里飛行場に安替した。

模倣で注目されてゐる

符合せ時間は

総二度を開時配動し、卅、卅一兩一二月十四日から廿七日迄は最開丸 日は大照船を配船し年始も一日か

谷を整へると共に來る十一月及び| 生三ヶ年の状態に基いて陣

船車乘換もスピードも便利さる

秋陽彩る北鮮の空 壯烈な師團假設演習の火蓋

янцнийяхмонасыцеговыйяниная **仕奉柴神宮神鮮**朝 。子ミス上日、子エグ日野――もた姫郎るす比率を発長人に並舞女乙八、光神師別籍の報客で設置 赴箟神神郎のカウ羽刺復年日三十か岩津のどなんさ子花様士、子ミト水沼、コミ川小、コヤア集具

の世紀に基立機能を傾けてこの

(假想) 三海上は考慮を要せず に十四日以後曾文飛行事を使用す ナ四日以後曾文飛行事・中除は明 だぽが事はは様ははないのである。

日朝それが「衛鰲地を出徙、午後、そなへたが、編示部には州七屋脇に保敷した獨立第〇〇師院は十三十村川右岸に第三陣を布いてこれに

に第一機を有き鐵戒勝然山及び福 に海岸水南川編赤部野草里の語地

人口は一

繊加に分割することは大京

の画人では、 の一本のでは、 の一なのでは、 の一なのでは、 の一なのでは、 の一なのでは、 の一なのでは、 のったのでは、 のっなのでは、 のっなのでは、 のっなのでは、 のっとのでは、 のっなのでは、 のっなので、 のっなので、 のっなので、 のっなので、 のっなので、 のっなので、

して逃走中を上三日午後龍山名の後三回に置り約四十四か

次二関

効果を收めて閉會

名,解歐六十名、土耳古五十三名 め、満洲四百八十七名がこれに次 八百八十五名が断然音位を占 口縣人多く 五十七名である 國人拥名である。これの男女朋は 仰國三十一名、獨國州名其他

柱(副)三氏なは培材、敵事審判が文基(主)片度英、女キックオフ铝七年的九時計等

出した《半島県東平菜の大衆化》 測断長が非年来より飛棒的に動き め原館した。この質様には図音が が見返しついある秋、野瀬は常に

一般進决勝

(211) 2平實

域から羅赤部を越えて強減のも 日間―三中井 十四日から六

が身によって

診器 十二時半マテ及ピタ到

四和

株式會社

京城黃途町入口 日本生的異

申佐超過に

皮膚泌尿花柳病

醫學博士渡邊皆

の情勢を低級しておもむろに敵を な午後四時から行動を起して順力 中ら羅北川の對岸の

遊か西方雪に続けれた長日の部に

観週所長の『ラギオ・ゾンギに疏の『題北の水産業に就いて』 関層

兄商々業美 加展開かる

を開催する、一年生か・ヤラリーに第三回商業

神宮奉賛競技 五日目

覧館ぼあぐらん

能結本局(3)四六八九百百

※ 京日案内

一層御愛願の程偏に願上ますと改善も愈々相整ひ従來通り開して誠に相濟みませんでした

知

5

P

(主)金纳和"工金州平後四時十

治先生創製

心器應用

後式吸愈液

始末におへぬ一味の悪事取締

東大門署の手に

証合開始午後五時、 ・ 1311 (311 (45) a

ところを別捕へた、住所不定福部

機(いっ)→段名→でチンピラに球

퍵

2 (李邦路

(午前十時半) 一點

教徒は上衣の内ボケットから、表

かは 御覧に なりましたでせらかこの間お送り致しました証言

四部 中国

前腹北知事伊選四班氏上

五錢玉を床に探す詩人

日の午後、第三戦計説では戦後のと一関礼三枚が入つてゐた、その

やめて十三日

並冰寺と 古冉 禾 ら將來の發展を企する為に 是非 本講 義 錄を御備え 下さい。實地技術の練磨 下さい。實地技術の練磨 中の落伍者とならきる線、 常に進步と向上を計り諸 常に進步と向上を計り諸 君の親しき相談相手となり 見き指 導者となるものが本 養銀に集銀されてありますか 僧に必要科目は悉く本講 僧に必要科目は悉く本講 ので、設計に施工に監 ので、設計に施工に監 建築技術者の爲に

伊東忠太、佐藤功一兩 伊東忠太、佐藤功一兩 伊東忠太、佐藤功一兩 我國建築界の權成者 **帝受一ヶ月八拾錢** 一ヶ年修了

京城旭町二丁目

特別傘の

女店員採用

+

で病

强作消殺冷 カ用炎菌透

会に殴り物に労困にて退破す の本土銭関名は一回毎に五十 の本土銭関名は一回毎に五十 の本土銭関名は一回毎に五十

中本三三三番柳岡丁子崖町 四治町入口 話別以西級別

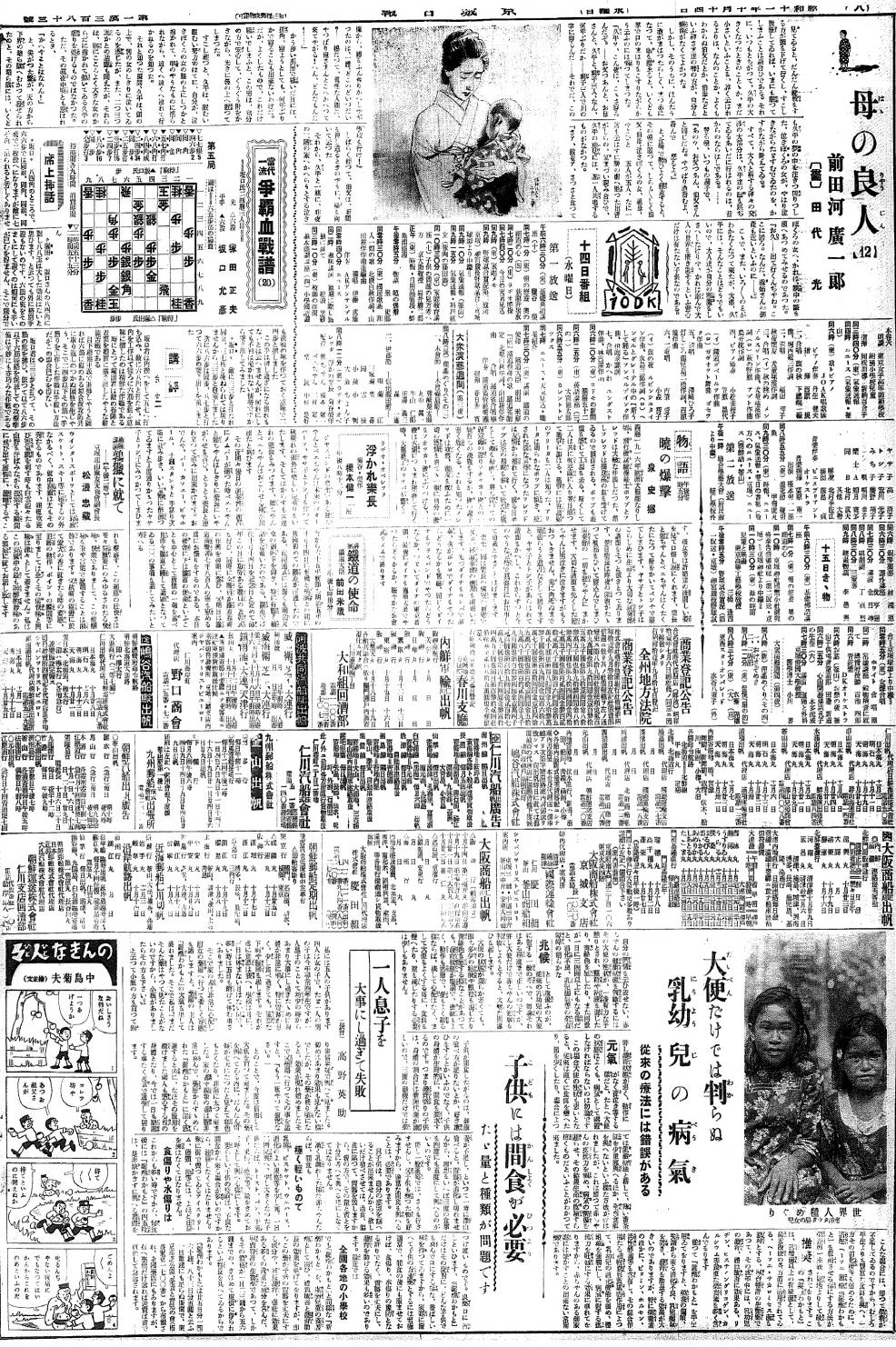
曾

代 「鼻の治療と頭髄明供法」のまを一人一部列無料原と頭髄明供法」のまを一人一部列無料原呈す。希望者は左 は唇旋筋へ申込め、

夏 技師 美麗集

| 日本学校の |

事務員採用



せるんち でもなつてはい かんからこれを やない収縮に

燃として用ひ、最質医養と健育助祭わかもと」を、虚例是童の養護

長の効果を駆けて全りますが、即

理たる。 現たる。 現たる。 現たる。 理解を登るされて、その総合作法を表示をできまし、その総合作の任かに、ビタミン、ホルモン、

を読き、総許を助長する効果が大 失調から来る消化不良、乳児闘鞅 ・ 一般のである。 一般のである。 一般のである。 一般である。 「他のである。 「他のである。 」 「他のである。 「你ので、我心で、我心ではなる。 「他ので、我心で、我心ではなる。 「他ので、我心ではなる。 「他ので、我心でなる。 「他のでなる。 「他のでなる。 「他のでなる。 「他

從つて「旋點わかもと」を平生

きいのでありますが、特に築養素

あつて、その成年中には、昭朔兄ので、その成年中には、昭朔兄のとする、殿皇接許の生動繁で、 との成年中には、昭朔兄のという。

ルシウム等政策な家族素を弱く言

の設定、體質改造に効果ある、リ

様によく。されてをります。これ、『種職以上の有益職として」は、『種職以上の有益職として」は、『種職以上の有益職として」

平生よりも豊富た武山を見へ、一 不足してゐるのですからい

こんな場合には、却つて発養が